

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	3	行政改革の促進
事業名	ふるさと納税型クラウドファンディング活用支援事業	担当課名	成長戦略課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の抱える課題の解決のために、民間事業者等が創意工夫して実施する事業に対し、資金調達面から支援する。
(事業概要等)
社会課題解決のために民間事業者等が工夫して実施する事業に対し、資金調達を円滑にすることを目的に、泉大津市ふるさと応援寄附制度を組み入れたクラウドファンディングにより集まった寄附金を事業者に交付する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,717	4,459	2,715	15,191	R5～秘書広報課 より移管 財源:寄附金
うち市負担分(千円)	0	3	4	191	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
寄附金額	千円	4,717	4,456	2,711	15,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
社会課題解決プロジェクトを募集し、審査委員会での審査を経て認定した「泉大津デジタルトライアル2024」と「全国初の先進的政策「泉大津モデル 新型コロナウイルス感染症・ワクチン後遺症対策」等取り組みの普及啓蒙・展開プロジェクト」について寄附を募集し、93日間で、計2,710,500円の寄附が集まった。2つのプロジェクトとも集まった寄附金を活用し、民間企業が持つ人脈やノウハウにより、社会課題の解決につながる取組みを実施することができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	令和4年度は1つの寄附募集サイトを利用し募集したが、より多くの寄附を集める為、令和5年度は2つの寄附募集サイトの利用した。また、令和4年度は情報発信が限定的であったことから、広報市やYoutube等の市のプロジェクトPRに加え、インフルエンサーの活用や過去寄附者への手紙送付等、寄附募集の周知を強化した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	プロジェクトにおいて、目標金額がかなわないと、予定するプロジェクト内容に制限がかかるため、今後においても寄附募集ポータルサイトの増加や、クラウドファンディングの魅力発信により、寄附金額の目標達成に向け改善が必要である。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	社会課題の解決に資するプロジェクトが多く実施されるよう、寄附金額目標達成に向け、連携事業実施者と綿密な協議を重ね、目標金額の設定、最大募集期間(3ヶ月)内に達成するスケジュール調整、魅力的なポータルサイトページ作成等を検討し、官民ともに責任を持って取り組む必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	3	行政改革の促進

事業名	元気な泉大津づくり政策研究事業	担当課名	成長戦略課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	人口減少、少子高齢化や食料問題など社会環境が大きく変化する中、これらに対応し、市民サービスを維持・向上させることを目的とする。
(事業概要等)	職員が他の自治体や民間企業等に赴き情報収集し、そこで得た情報をもとに外部有識者の知見も活用し新たな施策展開を模索する。 また、市をリビングラボとして実証実験を行い、本市の捉える社会課題の解決につながる取組みを創出する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,359	11,378	10,825	12,745	令和5年度から秘書広報課より移管
うち市負担分(千円)	7,359	7,959	8,827	10,195	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
事業化に関わる視察の件数/視察を行った課題件数	件	0/5	18/45	15/51	15/30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
職員の視察、外部有識者のアドバイスや人脈の活用、リビングラボ推進事業補助金により、民間事業者と連携して新たな社会課題の解決に向けた取組みを創出することができ、市民サービスの向上や新たな施策展開につながった。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	令和4年度と比較し、積極的な視察及び外部有識者からの知見や情報の収集に努めた。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	当該事業を活用して視察等を行う職員が一部の者に限られている。視察や外部有識者からの知見や情報を収集する機会が増加しているものの、市民サービスの向上及び業務の効率化をさらに推進するためには全庁的に取り組む必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	人口減少・少子高齢化等、社会構造の転換期の中で、経済面・財政面での制約がある中においても、これまでの市民サービスを維持しながらスピーディに社会課題を解決できるよう、官民連携の取組みの推進・情報の蓄積・庁内での共有等、全庁的に取り組んでいく必要がある。そのため、本市の課題を抽出・広く公に提示し、民間企業等が本市の課題に対して提案しやすい環境を整えることで、民間企業等が有する技術やノウハウを活用した社会課題解決に資する取組みの創出を図る。